



さかい輪

第11号
平成25年1月
発行責任者
原 明彦

新潟市助成事業

コミュニティ協議会は安心・安全なまちづくりを目指します。

[目次]

- 一面 新しい活動紹介
- 二面・三面 学校適正配置地域検討協議会
- 四面 23年度決算・24年度予算
事業・団体名簿・役員名簿

新しい 地域防災の カタチ



▶避難経路の障害物などを図面に落してマップを作成

地域の念願が叶い日本文理高校が市の避難所として指定されたのを機に、同高校周辺の輪之内、新通団地、楨尾新町、布割、ウイズプラザ新通の5自治会は、文理高校までの経路の(新大体育館等も念頭において)居住地周辺の災害時の危険箇所、避難経路、避難所を図面で確認し、避難途中の障害物等を地図上に書き込みを行ないました。

バーチャル訓練を実動に生かす 「共同避難訓練」 地域防災マップ作成ワークショップ 後日、地域住民共同避難訓練

「鉄は熱いうちに打て」と、9月30日には文理高校にて330人の参加で共同避難訓練が行われました。

「住民が自治会を超えて顔見知りになること、周辺自治会の役員同士が協力して避難所の運営にあたること、いざという時には大切な事だと思いません。」(輪之内自治会の伊田会長談)

▼第1回さかい輪レク・フェスタ2012



新しいレクリエーション登場

第1回さかい輪

レク・フェスタ2012

11月11日坂中体育館には子どもの歓声がっぱいに響き渡りました。親子で参加して一緒に遊べるレク・フェスタは、冬に向かう寒空の日に屋内で開催したことが好評だったようです。ダンスや防災迷路、体力測定などメニューが盛りだくさんでした。

ダンス新潟、中越防災安全推進機構、西区地域課が遊びの企画提供から指導まで協力して下さいました。ありがとうございました。

親子で遊べるレクリエーションを次回もご期待下さい。



年頭のご挨拶

坂井輪中学校区コミュニティ協議会
会長 原 明彦

新春にあたり皆様の御多幸を
祈念してご挨拶を申し上げます。

昨年はコミュニティ協議会にたいしまして、多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。

なかでも、新通小学校の過密状態の問題につきましては、「坂井輪中学校区内小学校適正配置地域検討協議会」を立ち上げ、何度も話し合いを重ねていただきました。その結果、地域の総意として要望書を市長と市教育長に手渡すことができました。こととは大変喜ばしく、皆様のご尽力に感謝いたします。

また、この地域検討協議会には幅広い年齢層からの参加があり、特に多くの女性の参加が得られました。

「今のこの時を同じ地域で共に過ごしている全ての人が地域社会に関わることが出来る機会を作りたい。」という私の信念のひとつが叶った検討協議会でもありました。

新年度は、新たな地域課題解決に向かつて、みんなで話し合う「コミュニティパートナーシップ会議(仮称)」の手法を提案しようと考えております。

それは、誰でもが参加でき、参加者ひとりひとりが地域課題の解決に役立っていると実感できる場であり、異

なる考え方の人であつても一緒にできることを発見できる場である「話し合いの場」です。

地域で暮らすみんなのために、みんなでご話し合い、行動していく、昔ながらの「寄り合いによる自治」とでもいいますか、一番日本人のDNAに合った方法だと私は思えます。

コミュニティ協議会というのは、それを効率よく組織的にすすめるためのしくみだと考えています。

私たちの日常を明るく活力あるものにしていくために、これからも、私たちみんなのコミュニティ「地域社会のために力を合わせていきましょう。」



合言葉は、「子どもたちのために!」

坂井輪中学校区内の2つの小学校が抱える問題

■新通小学校／児童数1069名



児童数の急激な増加による、
 ×教室不足
 ×行事の運営に支障が出る

■坂井東小学校／児童数382名



児童数の減少による、
 ×空き教室の増加

坂井輪中学校区には、新通小学校と坂井東小学校があります。坂井東地域の住宅増加に伴い昭和53年に、新通小学校から坂井東小学校が分離新設しました。近年の少子化で平成24年には坂井東小学校の児童は382名となりましたが、新通小学校は大規模な住宅開発などに伴い児童数1,069名と急増しました。両校は近接しておりその距離は約600メートルしか離れていません。新通小学校では教室不足や行事の運営に支障がでることなどが問題となつていますが、一方の坂井東小学校では空き教室が増えています。いずれは同じ中学校に通う小学生の教育環境のアンバランスをどうとらえるのか、解決できる方策はあるのか、

などを話し合うためにコミュニティ協議会がよびかけて、域内の自治会、小中学校のPTA、地域の団体の代表者が集まり、「坂井輪中学校区内小学校適正配置地域検討協議会」が作られました。子どもたちのために!」を合言葉に約7ヶ月間活発な意見が交わされたこの地域検討協議会は、坂井輪中学校区コミュニティ協議会に提言書を提出して役割を終えました。これを受けてコミ協は市長及び市教育長に要望書を提出しました。(要望書は3面に掲載) 要望の《要件1》については、「学区外就学特例措置」として25年度からの実施が実現することになり、ひとつの成果を得ましたが、抜本的な解決にはまだ時間がかかりそうです。今後の施策の行方に期待しています。

坂井輪中学校区コミュニティ協議会は、市と市教育委員会に対して、坂井輪中学校区内にある二つの小学校に関わる『学校適正配置要望書』を提出しました。

①〈要望書提出までの活動〉

地域説明会(24年2月26日)

地域検討協議会を発足させる前に、地域説明会を開催して、情報を共有しました。市教育委員会から「新潟市立小中学校の適正配置基本方針及び経緯」と、「新通小・坂井東小児童数の推移」について説明を受けました。

学校適正配置はデリケートな問題なので地域の総意として市に要望することが大切だとわかりました。そこで、自治会をはじめほとんどの地域団体が構成する当コミュニティ協議会が音頭を取るようになりました。

坂井輪中学校区内小学校適正配置 地域検討協議会(4回)

地域検討協議会は、小中学校PTA、自治会、教育に関わる地域団体などからの105名の検討委員で構成されました。全員が意見を述べられるよう、一回目と二回目はグループに分かれて意見交換を行ないました。各グループは初対面の人も多く、自治会代表やPTA役員など世代も多様な組み合わせとなりましたが、日頃感じていることや、解決の方策や進め方など、たくさんの意見が出されました。

25年度新学期に間に合わせたい案件もあり、地域検討協議会を急ピッチで進めさせていただきましたが、出された意見は検討委員ばかりでなく自治会や団体にも送付してご意見をいただき、次の会議の円滑な進行と、全員の情報共有に努めました。

地域検討協議会内の小委員会 提言書案づくり委員会(7回)

地域検討協議会で
見えてきた案

- ①新通小学校の分離新設又は移転改築
- ②新通小と坂井東小の通学区域変更
- ③フリー学区
- ④その他

これらの案を責任ある提言書としてまとめるためには、実現性の検証や、地域で協議すべき事項を明らかにしていく細やかな検討が必要だとわかり、「提言書案作り委員会」がその作業を行うことになりました。

委員会は各案のグループから選出された方と事務局を加えて13名で構成しました。7回に渡って開かれたこの委員会は、行きつ戻りつを恐れずに納得ゆくまで話し合いが続けられました。



坂井輪中学校区内小学校
適正配置地域検討協議会
委員長 原 明彦(坂中コミ協会長)
副委員長 目黒 浩輔(新通小PTA会長)
副委員長 原 明子(坂井東小PTA会長)

左より、市長、原会長、武内コミ協事務局長、目黒新通小PTA会長、原坂井東小PTA会長

②〈要望書提出〉

市長と教育長に要望書を提出(24年10月9日)



平成24年10月9日に坂井輪中学校区コミュニティ協議会は、地域検討協議会から託された「提言書」を地域団体であるコミュニティ協議会からの「要望書」として市長と市教育長に手渡しました。市長からは「緊急対策と抜本的な対策とを両方示していただいたので、たいへんありがたい。市としても努力したい。」という前向きなお返事をいただきました。

「要望事項」

要望書より要望事項を抜粋 平成24年10月9日提出

地域の将来を担う子どもたちがのびのびと育ち、また、円滑な自治会活動と発展的なまちづくりができ、両校がより一層地域から愛され未来の子どもたちにも誇れる学校となるよう、次の要件を満たすような学校の適正配置を要望します。

《要件1》緊急的な対応として、新通小学校区内自治会に平成25年度からの坂井東小学校への通学区域変更や学区外就学認可地域(希望により申請のあった児童だけ坂井東小学校へ通学)を奨励すること。

《要件2》新通小学校を現在地から適地に移し、それに合わせて新通小学校と坂井東小学校の通学区域を見直し、両校の学校規模や配置が適正となるようにすること。

《要件3》通学区域の見直しにあたっては、新通小学校の過密状態を一刻も早く緩和するため、移す場所が確保され次第実施するものとし、特に次のことに留意しながら地域の意見を十分に聞くこと。

(1)できるだけ1自治会の学校区が分断されないよう配慮すること。

(2)在学中の児童を無理に転校させることのないよう新入生から段階的に移行すること。

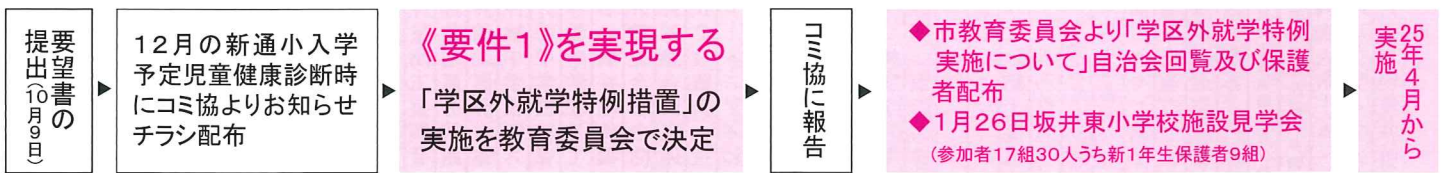
(3)兄弟姉妹が別々の学校に通学することのないよう暫定的に学区外就学を認めること。

《要件4》児童数の増加に伴う坂井東小学校の教育環境を崩さないよう、学校施設を必要に応じて改修や増築を行うこと。

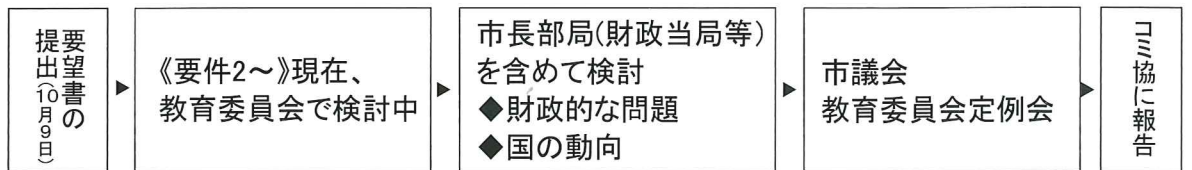
《要件5》関連する自治会、地域住民、保護者に対して十分な説明を行い、混乱を招かないようにすること。

なお、万が一、移すことが困難な場合は、現在地において児童が伸び伸びと学習活動ができる学校施設に改築を行い、完了するまでの間、教室数の不足が生じないようにプレハブ校舎の設置や各種行事における近隣施設の借り上げなど、余裕のある教育環境を確保することで、新通小学校の教育環境の改善を図られるよう要望します。

③〈これまでの成果〉



④〈これからの流れ〉



これからの流れ (会長 原 明彦)

地域検討協議会よりコミ協に対して提言のあった「通学区域変更準備推進委員会」の設置については、要望書に対する市あるいは市教育委員会からの経過報告が届いていないため、待機中です。

学校は教育施設であるとともに、文化やスポーツなどの地域コミュニティの拠点でもあり、災害時の避難所でもあります。今回の新通小学校適正配置は、保護者の方だけでなく、地域住民にとっても重要な問題です。

地域検討協議会でたくさんのご意見をいただいた実績を糧に、これからも地域のみならずオープンに話し合い、また、自治会回覧等でご報告しながら進めてまいりたいと考えています。話し合いの場には多くの方々のご参加をお待ちしています。

いつも元気に！
早寝・早起き・朝ごはん

*坂井輪中学校区コミュニティ協議会は、子どものすこやかな成長を願って、早寝・早起き・朝ごはん運動を推進します。

平成24年度 主な事業

主管専門部	事業
防災・防犯部	○ 西区わがまち防災力育成事業の意欲啓発
	○ 自主防災合同訓練の共催
	○ 坂井輪レスキュージュニアチーム育成講座
	○ 同チームの防災合同訓練の参加
	○ その他、防災防犯意識を高める事業
交通安全部	○ 地域内の道路等の交通安全点検
	○ 小中学生交通安全自転車競技大会の共催
	○ 小学校区交通安全推進協議会への協力
	○ 全国交通安全運動期間中の行事に参加
	○ ふれあい坂井輪祭りでの交通整理に協力
福祉部	○ その他、地域交通安全普及事業
	○ 子育ての集いの開催
	○ 福祉のまちづくりシンポジウムの開催
	○ さかい輪ふれあい収集事業の充実
	○ 福祉作業所製品の販路拡大支援
子ども部	○ 介護予防リーダー研修参加
	○ その他、福祉のまちづくり事業
	○ 親子の居場所、子どもの居場所づくりの推進
	○ ぼうけん遊び場坂井輪プレーパーク5の開催
	○ その他、子どもに関する事業
文化スポーツ部	○ 寺尾山下道子子ども絵画展示
	○ さかい輪レク・フェスタ2012の開催
	○ 家族交流・異世代間交流スポーツの普及
	○ その他、地域の文化・スポーツ活性化事業
	○ 緑のカーテン植樹普及事業
生活環境部	○ 坂井輪を花で飾ろう2012推進事業
	○ その他、地域の環境改善事業
	○ 西区新鮮あさ市組合参加協力
	○ ふれあい坂井輪まつり後援
	○ 自治会長研修会
産業振興部	○ 三者合同研修会
	○ 新年情報・意見交換会
	○ 広報紙「大道」発行
	○ 会報「さかい輪」発行
	○ その他、コミ協議会の周知

平成23年度決算 平成24年度予算

1 歳入				(単位:円)
項目	23年度決算額	24年度予算額	比較増減(24-23)	予算摘要
運営費	400,686	401,000	314	
西区運営助成金	400,000	400,000	0	西区地域コミュニティ協議会運営助成金
自己資金	686	1,000	314	運営助成金不足分を古紙会計より補填
事務所借上げ補助金	600,000	600,000	0	地域コミュニティ協議会事務所借上補助金
古紙行政収集地域活動支援金収入	628,282	668,000	39,718	
繰越金	203,956	247,985	44,029	前年度より繰越
支援金	424,290	420,000	△ 4,290	新潟市古紙行政収集地域活動支援金
雑収入	36	15	△ 21	銀行利息等
合計	1,628,968	1,669,000	40,032	
2 歳出				
項目	23年度決算額	24年度予算額	比較増減(24-23)	予算摘要
運営費	400,686	401,000	314	
報償費	17,574	10,000	△ 7,574	講師及びボランティア謝礼等
旅費	1,075	6,000	4,925	運賃等
消耗品費	154,061	150,000	△ 4,061	事務消耗品等購入費
食料費	67,083	60,000	△ 7,083	会議開催時のお茶代等
印刷製本費	122,623	130,000	7,377	資料等印刷費
通信運搬費	38,270	40,000	1,730	資料等郵送料
使用料及び賃借料	0	5,000	5,000	借上げ料等
備品購入費	0	0	0	
事務所借上げ費	600,000	600,000	0	家賃50,000円×12ヶ月
古紙行政収集地域活動支援金支出	628,282	668,000	39,718	
会議費	19,000	70,000	51,000	コミ協を代表して出席する懇親会等
事務費	150,000	150,000	0	役員所有事務機器の損料保障費用
物品購入費	9,500	10,000	500	備品等購入費等
通信費	190,000	190,000	0	役員との通信費等に要する費用の補助
雑費	11,797	15,000	3,203	補助金等の自己負担分補填、家賃引落料等
予備費	0	233,000	233,000	家賃前払金等の運転資金として活用
次年度繰越金	247,985	0	△ 247,985	
合計	1,628,968	1,669,000	40,032	

45	輪之内自治会	90	(社福)もぐら工房
44	若葉団地自治会	89	JAみらい坂井輪支店
43	南ヶ丘自治会	88	ヘルシーライフの会
42	緑ヶ丘自治会	87	有料老人ホーム・ハートフルケア新通
41	榎尾新町自治会	86	西区赤十字奉仕団坂井輪中学校区コミュニティ協議会
40	藤山団地自治会	85	西区社会福祉協議会坂井輪中学校区コミュニティ協議会
39	畠中団地自治会	84	西区新鮮あさ市応援隊
38	布割町内会	83	新潟交通安全協会寺尾中央支部
37	西坂井団地自治会	82	新潟交通安全協会道上ヶ丘支部
36	西坂井第2自治会	81	新潟西おやこ劇場
35	西坂井第3自治会	80	新潟地区保護司会坂井輪分区分坂井輪中学校区
34	仲才自治会	79	新潟市老人クラブ連合会坂井輪南地区協議会
33	道上ヶ丘自治会	78	ドリムハウス
32	寺尾山の手自治会	77	住みよい郷土推進協議会西区支部
31	寺尾村上自治会	76	(社福)スマイルはじめ保育園
30	寺尾南新町自治会	75	(NPO法人)スペースBe
29	寺尾東2丁目自治会	74	(社福)翠松保育園
28	寺尾新町東和自治会	73	(学)神宮学院寺尾幼稚園
27	寺尾新町第2自治会	72	(社福)新通保育園
26	寺尾新町第1自治会	71	新通地区民生委員児童委員協議会
25	寺尾新町自治会	70	新通小学校PTA
24	寺尾上4東自治会	69	新通小学校区交通安全推進協議会
23	寺尾駅前団地自治会	68	シヨートステイわかば
22	須賀団地自治会	67	(NPO法人)生涯青春の会
21	新通南自治会	66	坂井輪連合防犯連絡協議会
20	新通団地自治会	65	坂井輪連合自主防災会
19	新通自治会	64	(学)坂井輪幼稚園
18	新田東自治会	63	坂井輪中学校PTA
17	新田自治会	62	坂井輪中学校区青少年育成協議会
16	坂井輪第2団地自治会	61	坂井輪中学校区スポーツ振興会
15	坂井輪第1団地自治会	60	坂井輪地区防火連合会
14	坂井輪団地自治会	59	坂井輪地区公民館利用団体連絡協議会
13	坂井南ヶ丘自治会	58	坂井輪商工振興会
12	坂井ファミリータウン自治会	57	(社福)坂井輪会
11	坂井東3丁目自治会	56	(市立)坂井保育園
10	坂井中団地自治会	55	坂井東地区民生委員児童委員協議会
9	坂井自治会	54	坂井東小学校PTA
8	亀貝若葉自治会	53	坂井東小学校区交通安全推進協議会
7	亀貝自治会	52	(社福)コープ共生会てらお園
6	上坂井自治会	51	子育て支援センターたんぽぽ
5	上坂井団地自治会	50	子育て支援センターうん・まんま
4	尾立自治会	49	(株)グリーンシグマ
3	大野藤山自治会	48	(NPO法人)キッズ・ユニファ
2	ウイズプラザ新通自治会	47	一番堀をきれいにする会
1	青葉台自治会	46	(NPO法人)アクセシブルにいがたホットスペース



あともがき

今号の「会報さかい輪」は、坂井輪中学校区小学校適正配置地域検討協議会の報告を特集しました。よりよい会報作りに向けて、皆様のご意見ご感想をお待ちしています。今年もよろしくお願いたします。(坂中コミ協広報部)

役員名簿	氏名
会長	原 明彦
副会長	梶原 宜教
副会長	前田 信一
副会長	郷 扶二子
事務局長	武内 裕子
連合自治部長	伊田 修一
防災・防犯部長	田中富美男
福祉部長	上杉あさ子
交通安全全部長	前田 信一
交通安全副部長	山本貴美子
子ども部長	郷 扶二子
文化スポーツ部長	渡辺 穰
生活環境部長	渡部 政幸
産業振興部長	大瀧 敏男
広報部長	武内 裕子
監事	齋藤 憲一
監事	塚原 進